

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
	安全・衛生の確保	下館引率	・小学校と連携しながら、4月には1年生へ向けて、安全に児童館まで帰館できるように指導する。また、町別下校の際には職員が学校まで迎えに行き、児童館までの下校指導を行うことで、安全に関する意識を高めることができた。 ・子どもだけでの下館になると、走ってケガをしたり、道の真ん中を歩いたり、寄り道をしてしまうことがあった。今後も安全に帰館できるように、一層指導を重ねていく。
		手洗い、手指消毒	・都度声かけをすることで手洗い、手指消毒の習慣づけを促した。 ・ハンカチを忘れる子どもが多く、引き続き子どもへの声かけと保護者に周知をしていく。
		安全指導	・4月は下館時に職員が付き添って安全指導を行うとともに、必要に応じて交通安全指導を行ったことで、安全に関する意識が高まった。
	健康の管理・情緒の安定	整理整頓指導	・ロッカーへの荷物の入れ方、持ち物の管理等、随時声かけを行う。 ・持ち物の管理が不十分な子どももいるので、引き続き声かけ・指導を行う。
		おやつ提供	・おやつを提供することで、夕食までの捕食としている。 ・食べる時は黙食等、マナーを守れていない子どももいたため、引き続き指導を続けて行く。
	基本的生活習慣の確立	班活動	・おやつを取りにきて班のメンバーに配ったり、選べるときはジャンケンを促したりと、3年生が各班のリーダーとなって活躍した。また、3年生がいない時は、2年生が役割を担った。
		熱中症対策	・外遊びの際に帽子着用・水分補給を促したり、気温に応じて服装による体温調節を促すなど、子どもの体調を確認しながら行った。 ・水筒を忘れや量が少ない子がいるので、引き続き子どもへの声かけと保護者にも周知していく。
	社会生活技術の獲得	朝の会・お帰りの会	・毎日のお帰りの会、土曜日・代休日・小学校長期休業中の朝の会で、行事・取組の予定や職員からの注意事項を伝えたことで、子どもたちが少し見通しを持って臨むことができた。しかし、視覚的な支援など子どもたちにとってより分かりやすい伝え方を工夫する必要がある。 ・会に気持ちが向かない子どももいるため、今後も話を聞く大切さを伝えながら指導を続ける。
		学習時間の設定	・毎日の帰館後、土曜日・代休日・小学校長期休業中に学習の時間を設定したことで、学習の習慣化に繋がった。 ・周りが遊んでいると集中が出来ない子どもも多かったため、ついでで仕切る等、子どもがより集中しやすい環境づくりに努める。
		休憩時間の設定	・土曜日・代休日・小学校長期休業中の昼食後に休憩時間を設定したことで、お腹を休めながらお昼以降に向けて体調を整えることができた。
子ども育成機能	生活体験の拡大	入会式	・3年生の子どもたちが学童クラブでの様子を紹介するなど、3年生が入会式で活躍した。 ・事前準備が足りておらず、当日の準備に入り込んだため、事業への見通しを持って進めていく。
		1年生オリエンテーション	・児童館の生活について、注目してもらいたいところは矢印を用いながら、3年生が主体となって説明することができた。 ・当日になって3年生の中でやりたくないという子がいた。自分の決めたことを最後まで責任を持ってやり切る事の大切さを伝えていく。 ・1年生にとって分かりやすく、覚えてもらえるように視覚的な工夫をさらに準備していく。
		新入生歓迎会	・学童クラブの仲間として、新入生をお祝いして迎え入れることが出来た。 ・準備段階から、1年生へのプレゼントを作り、上級生としての役割への意識付けもできた。また当日の司会進行も、やる気を持って行うことができた。 ・1年生の自己紹介をしっかりと聞く姿勢が保てない子どもが多かった。発表する側の気持ちについて考える機会を作る等、話をしっかりと聞く意識づけを行っていく。
	社会性の養成	お誕生日会	・毎月3年生以上の子どもたちが司会進行を努めながら実施し、お誕生日の子どもたちをみんなで祝いすることができた。 ・2月・3月は2年生も司会進行を担当し、次年度に向けて準備・練習することができた。 ・誕生日会に気持ちが向かない子どもについて、全体にお誕生日会の大切さを伝えながら、誰もが楽しく参加できるように工夫を考えていく。
		3年生以上オリエンテーション	・上級生として1年生にどのように関わっていくか考え、今後の言動を考える機会を持つことができた。 ・1年生オリエンテーションでの役割を知り、事前に確認・準備をすることができた。
	自立の促進と自主性の尊重	おかいものごっこ	・3年生が事前準備を行い、有志の2年生がお金を束ねる・計算をしてくれる等、楽しみながら取組に参加できた。 ・普段のおやつとは違い、自分の好みのおやつを選ぶことができ、満足げな様子が見られた。 ・取組実施について周知不足があったり、前半・後半での参加人数差があり、販売側になった子どもたちのやりがいが少ないため、取組の進め方をさらに練っていく必要がある。 ・お金券とおやつやりとりの方法について、各値段のコーナーから1つずつ等、子どもたちにとって分かりやすい買い方が出来るように工夫する。
		夏休みオリエンテーション	・夏休みに入る前にオリエンテーションを実施し、事前にタイムスケジュールやルール等を伝えることで、子どもたちが見通しを持って生活することができた。
		3年生以上会議	・夏休み期間中の様々な行事・取組に向けて、各班のリーダー・副リーダー決め、取り組む内容やリーダー・副リーダーとしての心構えを事前に確認できた。
		虫とり	・各グループの上級生の子どもたちが班をまとめながら、取り組むことができた。 ・気温が高く、熱中症が心配されるため、両日ともに急きょ時間を短くして行った。夏場に屋外で行う行事のため、天気や気象情報の傾向を確認しながら進めていく。
		ピカピカそうじデー	・日頃使用している部屋を子どもたちが一所懸命にきれいに掃除することができた。 ・部屋ごとに掃除の内容が違うことから、終了時間に差が出てしまった。各部屋の進行状況を共有しながら進めていく。
けん玉週間・検定		・初めてけん玉に触れる子どもも多かったが、けん玉に親しみ、楽しみながら様々なけん玉遊びに取り組めた。また、取組を見ていた周りの子どもたちも興味を持ち、途中から参加して取り組んだ。 ・取組後、自由遊びの中でけん玉で遊んだり、技を練習する子どもたちの姿があり、子どもたちの遊びの選択肢を増やすことができた。 ・周りの子どもが遊んでいることが気になってしまうことがあったため、集中できるような環境づくりに考えていく必要がある。 ・初めての子どもが多かったため、基礎を築く内容に力を入れて取り組んでいけるように内容を工夫していく。	

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
子ども育成機能	生活体験の拡大 社会性の養成 自立の促進と自主性の尊重	みんなあそび	<ul style="list-style-type: none"> ・普段あまり関わりの少ない異学年同士で、遊びを通して交流を図ることができた。また、初日の反応を受け、後日2回目を急ぎよ行いが、みんなで大いに楽しむことができた。 ・今回は初めてということもあり個人戦で行ったが、例えばグループを作って競うなど、集団遊びの中で異学年のつながりを作れるよう工夫をしていく。
		おやこであそぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを楽しみながら、子どもたちの関係性を広げることができた。また、保護者同士の交流の場となり親睦を広げる機会になった。 ・保護者が頑張っている姿を子どもたちが見ると同時に、普段の子どもたちの様子や関係性を保護者に見てもらうことができた。 ・広報が上手く出来ていなかったため、子どもたち自身が参加したいと思えるようにアナウンスする等、広報の仕方を工夫していく。 ・チームの場所は決まっていたが、学年ごとに座る場所を決めたり、座る場所の印をつけるなど、子どもたちが落ち着ける環境をつくり、遊びに集中できるように工夫していく。
		まつりに向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館40周年を記念して、児童館まつりで踊りの発表を行うため、練習に取り組んだ。 ・3年生以上の子どもたちに先に踊りを伝える。その後、3年生以上が1・2年生に踊りを伝え、上級生としての力を発揮できた。
		15feis	<ul style="list-style-type: none"> ・世代を超えて、積極的にコミュニケーションをとることができ、楽しんで参加することができた。 ・事前にルール確認やマナーについて話をしていたが、自由気ままに振る舞う子どもの姿があった。伝え方の工夫や対応について考えていく必要がある。
		机出し練習	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の子どもたちが見本を見せるとともに、1年生1人1人を見守りながら、机の安全な出し方・しまい方の練習を行うことができた。 ・取り組みを終えた子どもの把握・共有が十分にできておらず、翌日以降の保育の中で職員が対応する際の混乱があった。
		どどじどうかんこどもまつり ステージ発表	<ul style="list-style-type: none"> ・百々児童館40周年を記念して、どどじどうかんこどもまつりで踊りを発表することができた。 ・保護者や地域の方の前で発表を行う貴重な体験を持つことができ、また拍手や称賛する声等の認められる嬉しさを味わうことができた。
		冬休みオリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休みに入る前にオリエンテーションを実施し、事前にタイムスケジュールやルール等を伝えることで、子どもたちが見通しを持って生活することができた。
		新春まつりの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館40周年を記念して、新春まつりで踊りの発表を行うため、練習に取り組んだ。 ・発表を行うことについて、保護者や子どもたちへの周知したタイミングが遅く、練習の回数があまり取れていなかった。
		新春まつり ステージ発表	<ul style="list-style-type: none"> ・百々児童館40周年を記念して、新春まつりで踊りを発表することができた。 ・こどもまつりに続き2回目の発表ということもあり、子どもたちが前回以上に自信を持ちながら発表し、改めて認められる嬉しさや達成感を感じるすることができた。
		修了記念品製作	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の終了に向けて、修了記念品づくりに取り組むことができた。 ・色を決める際に
		春休みオリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・春休みに入る前にオリエンテーションを実施し、事前にタイムスケジュールやルール等を伝えることで、子どもたちが見通しを持って生活することができた。
		終了式	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度末で学童クラブを修了する子どもたちを、在館生、保護者、職員でお祝した。 ・修了生は「おわかれの言葉」、在館生は「おくることば」を代表の子どもが発表できた。 ・練習する時間があまり取れていなかったため、余裕を持って当日を迎えられるように取組を組み立てていく。
		お別れ遠足	<ul style="list-style-type: none"> ・大きなケガもなく、みんなで楽しく過ごすながら、久しぶりに館外活動を行うことができた。 ・グループメンバーをあえて普段関わりが少ない子どもで組んだことで、一時バラバラになってしまう班もあったが、普段関わりが少ない子ども同士が関わり楽しむ様子が見られた。 ・グループ行動に関して、子どもたちへの指導や要員保護者へのお願いを充実させる等、当日グループで行動できるようにしていきたい。 ・バスの乗り継ぎの際、結果として長い時間参加者を待たせてしまった。出来るだけ待ち時間を減らせるように、目的地までの様々なルートを企画段階から提案・話し合いを行っていく。 ・施設や公共交通機関とのやりとりで不十分な点があり、当日大変な時もあったので、連絡・調整に一層力を入れて取組を進めて行く。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換 子育ての仲間づくり 子育てを支えるネットワーク形成	おたよりの発行	<ul style="list-style-type: none"> ・おたよりをうえぶさくらで毎月アップして、保護者へ行事や取組の予定を周知するとともに、子どもたちの様子も伝えることができた。
		さくらdaysの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらDaysを活用しながら、保護者との情報交換連携を図ることができた。 ・行事・取組に関するお知らせが遅くなってしまうこともあったので、保護者が十分な余裕を持って確認できるように、早めに知らせられるように努める。
		保護者懇談会	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使って学童クラブでの子どもたちの様子、小学校長期休業中の生活や行事・取組について、保護者に伝えることができた。 ・今後も、実施日や実施時間を複数設定するなど工夫を続け、少しでも参加する世帯を増やしていきたい。
		個人懇談	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度を参考に記入する。 ・各家庭の日時決定について調整が上手くいっておらず、対応に苦慮する時があった。余裕を持って調整するとともに、調整した内容を多くの目で確認し、共有を図る。
		お弁当いらないデー	<ul style="list-style-type: none"> ・お弁当いらないデーを実施したことで、小学校長期休業中に毎日昼食を用意する保護者の負担を少し減らすことができた。 ・自分のゴミは自分で片づけるなど、自分のことは責任を持って最後まで務めることや、食べる時のマナーについて、今後も指導を続けて行く。
		子育て相談	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて子育て相談を行い、子どもが抱えるしんどさや子育ての悩みを保護者と共有することで、子どもの支援につなげることができた。
		豚汁デー	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで豚汁を食べて、多くの子どもたちが喜びながら、楽しい時間を共有できた。 ・児童館で豚汁を用意し、おにぎりのみ持ってきてもらったことで、少しはあるが保護者の負担を減らすことに貢献できた。 ・豚汁のような熱いものを配膳するときは尚更だが、配膳の際には落ち着くように指導する。 ・配膳方法について、全体での共有が不十分で臨機応変の対応になってしまったので、十分に共有を行って取組に臨む。
保育園・幼稚園との懇談 小学校連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度1年となる子どもたちについて、出身園の担任と懇談を持ったことで、子どもの特徴をつかんだり、支援に繋げることができた。 ・小学校の各担任と話し合いを持ち、子どもたちに関して情報交換・共有を行ったことで、子どもの支援に繋げることができた。 		

令和5(2023)年度 学童クラブ事業年間活動報告書

百々児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中学生	大学生	大人				
生活援助機能																
下校引率	12	219												219	1年生が安全に帰館できるよう、学校へお迎えに行き下校指導を行う。また、町別下校の際、学校へお迎えに行き下校指導を行う。	
手洗い、手指消毒	毎日	4348	2106	2518	277	155								9404	登館時、外あそび後の手洗いを徹底させ、おやつ・昼食では手指消毒も行う。また、ハンカチの携帯を促す。	
安全指導	随時														4月は下館時に職員が付き添い、安全に下館できるよう指導する。必要に応じて、交通安全指導を行う。	
整理整頓指導	毎日	4348	2106	2518	277	155								9404	自分の持ち物はロッカーに片付けるよう指導する。また、おもちゃを大切に使い、使ったものは片付けるよう指導する。	
おやつ提供	毎日														毎日2種類のおやつを提供する。また、必要に応じて、お持ち帰りおやつで対応も行う。	
班活動	7月以降														異年齢で班を作り、おやつ・昼食時に活動する。また、虫取りなど取組の中でも、班で活動する。	
熱中症対策	随時														外遊びの際に帽子着用・水分補給を促す。また、子どもの様子を確認しながら、気温に応じて服装による体温調節を促す。	
朝の会・お帰りの会	毎日														児童館・学童クラブの行事や予定を確認する。	
学習時間の設定	毎日														毎日学習に取り組む時間を設け、学習の習慣化を図る。	
休憩時間の設定	土曜日・代休日 小学校長期休業中														昼食後、本を読んだりDVDを鑑賞して、体を休める時間を設ける。	
子ども育成機能																
入会式	1	26		4										27	57 新入会児童の入会をお祝いする。	
1年生オリエンテーション	1	17		3											20 1年生に向けて、3年生の子どもたちが学童クラブので生活・ルールを伝える。	
新入生歓迎会	1	26	15	16	2									59	59 新入会児童をお祝いし、他学年との交流を図る。	
お誕生日会	12	193	93	117	6	3								412	412 毎月1回誕生日会を行う。3年生以上が司会を務める。2月以降は、2年生も司会を努め	
3年生以上オリエンテーション	1			16	3									19	19 3年生以上の子どもたちに向けて、上級生として1年生にどのように関わっていくかを	
おかいものごっこ	1		13	15	1	2								31	31 おやつを買い物形式で行い、自分で選んで買ったおやつを食べる。	
夏休みオリエンテーション	2	44	12	11	1	1								69	69 夏休みの生活について説明やルールを確認する。	
3年生以上会議	1			12	3	3								18	18 夏なつみ期間中の様々な行事・取組に向けて、3年生以上で会議を行う。	
虫とり	2	18	12	12	2	3								47	47 虫取りを体験し、自然や生き物に触れる。	
ピカピカそうじデー	2	30	19	19	6	3								77	77 お盆・年末に大掃除を行う。	
けん玉週間・検定	5	22	8	3										33	33 昔からあるあそびであるけん玉に取り組む。	
みんなあそび	1	11	6	6	5									28	28 小学校代休日や学校が早く終わる日に、集団遊び「3億円ゲーム」に取り組む。	
おやこであそぼう	1	2	6	4										14	26 子どもと保護者の参画を募り、遊びを通して交流を図る。	
こどもまつりに向けての取組	17	273	63	161	11	16								524	524 百々児童館40周年を記念して、こどもまつりで「あしびな」の発表に向けて、踊りの練習を行う。	
15feis	1	3	2					4							9 9 福大生主催の世代間交流イベント15Feisに参加する。	
机出し練習	2	12												12	12 1年生に向けて、机の安全な出し方・片付け方を、職員と共に3年生が見本を見せながら指導する。	
どどじどうかんこどもまつり ステージ発表	1	20	6	9	1	2									38 38 どどじどうかんこどもまつりで、「あしびな」のステージ発表を行う。	
冬休みオリエンテーション	1	21	8	9	1									39	39 冬休みの生活について説明やルールを確認する。	
新春まつりの取組	8			82										82	82 百々児童館40周年を記念して、新春まつりで「あしびな」の発表に向けて、踊りの練習を行う。	
新春まつり ステージ発表	1			12										12	12 新春まつりで、「あしびな」のステージ発表を行う。	
修了記念品製作	14	82	26	36	4									148	148 修了記念品の制作に取り組む。	
春休みオリエンテーション	1	17	9	9	1									36	36 春休みの生活について説明やルールを確認する。	
終了式	1	10	3	7										28	28 今年度で学童クラブを修了する子どもたちを、在館生・保護者・職員でお祝いする。	
お別れ遠足	1	20	6	7								8	8	49 49 京都市青少年科学センターへお出かけする。		
子育て支援機能																
おたよりの発行	12														毎月「がくどうだより」を発行する。行事・取組や子どもの様子を伝える。	
さくらDaysの活用	毎日														さくらDaysを活用して、保護者と情報交換を行う。	
保護者懇談会	3	1		1										43	45 45 学童クラブでの子どもたちの様子を伝えるとともに、家庭や学校での様子を聞き、情報交換・共有を図る。	
個人懇談	24													63	63 63 全世帯実施し、子どもの様子を保護者と共有し、情報交換を図る。	
お弁当いらないデー	4	56	29	33	6	4								128	128 保護者の負担軽減の為、お弁当を外注する。	
子育て相談	4													5	5 5 子育ての悩みについて相談を受け、保護者とともに対応を考える。	
豚汁デー	1	17	8	9		2								36	36 保護者の負担軽減の為、お昼ご飯に豚汁を用意して食べる。	
保育園・幼稚園との懇談	随時														今年度1年生になる子どもたちに関して、出身園と懇談して、情報共有を図る。	
小学校連絡会	7月 随時														夏休み前、小学校の先生と懇談し、子どもについて情報共有を図る。また、必要に応じて、小学校の先生に連絡を取り、情報共有を図る。	

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
 *注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること